

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大東小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> ・算数「数と計算」の領域において、全ての学年の正答率がさいたま市の平均に満たない。 <指導上の課題> ・適用問題や演習問題を全ての児童に同一の物に取り組ませていた。	⇒ 算数の問題演習を行わせる時に、児童に一律に同じ問題を解かせるのではなく、「ドリルパーク」「スタディサプリ」等も利用し、自分の学力にあった問題を選択して行うようにする。また、自分で選択することが困難な児童に対しては、教師側が選択した問題に取り組むようにする。【単元終了時に実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> ・学習に対して意欲的に取り組む児童は多いが自らの学びをメタ認知し、自己調整していく力が弱い。 <指導上の課題> ・取り組み1年目ということもあり「学びのシンキング・サイクル」を教師、児童共に取組進上の状態である。	⇒ 昨年度リーディングDXで取り組んできた「学びのシンキング・サイクル」(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ表現→振り返り授業)に継続して取り組んでいく【毎時間、毎単元実施】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)